

■ プロテスタント教会音楽の第一人者

中田 羽後

なかた うご

出身地 大館市

1896年（明治29年）～1974年（昭和49年）

教会における祈りと讃美歌のリバイバルを叫び、
「メサイア」の邦訳と「聖歌」の作詞など、キリスト
教音楽の伝道と普及に尽くす。著書『リバイバ
ル聖歌』のほか、教会音楽研究誌『聖歌の友』の主
筆となる。



年譜

- 1896年 おおだて 大館市に生まれる。
- 1915年 青山学院中等部を卒業。
- 1921年 『リバイバル聖歌』を出版。
- 1932年 「東京ボランティア・コワイア」を組織。
- 1947年 GHQ東京チャペルセンター聖歌隊指揮者。
- 1959年 日本福音連盟聖歌委員会編『聖歌』編集委員長。
- 1967年 キリスト教文化協会よりキリスト教功労者表彰。
- 1969年 自叙伝『父の涙』を出版。
月刊『聖歌の友』を創刊、主筆となる。
- 1974年 東京都で没。77歳。